

岡田宮

宝永4年(1707) 貝原益軒書

第50号

平成22年11月吉日

発行 岡田宮社務所

郵便番号 806-0063

北九州市八幡西区岡田町1番1号

電話 (093) 621-1898

FAX (093) 621-5330

ホームページ <http://www.okadagu.jp/>

Eメール okadajinja@jcom.home.ne.jp

氏神さま

街中の鳥居、田んぼの中のこんもりした森、

山の頂の小さな祠、全国至るところに神社はあります。

神社のある風景、それは映画やドラマでもおなじみの、

ごく身近な、しかし日本にしか見られない独特の風景です。

神社は、街角の小さな祠まで含めると、

ほとんど無数といってよいくらいあります。

その中で、

私たちの毎日の生活に密着している神社が氏神さまです。



氏神さまってどんな神さま？

氏神さまは、皆さんが住んでいる地域をお守りくださる神さま神社です。古くは同じ一族がまつりしていた神さまを氏神と申し上げましたが、のちに主として地域の守り神・鎮守さまを意味するようになりました。氏神さまに守られている地域の人々すべてを氏子といい、たとえば〇〇町一丁目は××神社の氏子というように住所によって氏神・氏子の関係が定まっています。氏子の代表として神社のお世話をする方を氏子総代といいます。

氏神さまと地域との関係は？

春や秋などに行われる氏神さまのお祭りはもともと、お米をはじめとした五穀の豊穡や大漁などを祈り、また感謝する意味があります。私たちの祖先は、氏神さまへの感謝と祈りを生活の中心に置き、いろいろな役目を分担しながら毎年のお祭りを行うことで、村々地域共同体の和を保ち、村づくり・地域の発展のために努力してきたのです。

目次

氏神さま	1
第十六回 岡田神社書道展	2
郷土地名考 50	2
神社なぜなぜ問答 50	3
年末年始の行事案内	4
平成23年の厄年	4

第十六回 岡田神社書道展

会期 平成22年7月23日(金)~29日(木)

表彰式 平成22年7月29日(木)

総出品点数 837点



- 岡田宮賞
小2 彌勒眞緒
小3 鞍成琴音
小4 櫻井里美
小5 古橋郁子
小6 兵頭賢明
中1 池田由衣
中2 茂司亜梨紗
中3 芳賀礼乃

- 総代会長賞
小1 藤田美咲
小2 保田結衣
小3 彌勒暉仁
小4 納多由紀乃
小5 吉原徳南
小6 小川明莉
中1 井口 瞳
中2 松田瑞希

- 特選
小1 平田陽菜
富永弘大
木畑佑涼
重末ひな
森川桃羽
加地紗彩
坪井 蒼
松藤花華
武石千伶
徳永理沙
上田花恋
鞍成 駿
北川楓弥
高村陽笑
花屋百萌佳
永野瑞季

- 小3 長濱実央
吉原希美
世良愛菜
山下唯里弥
豊岡愛理
大場千遙
池田穂花
篠崎莉奈
日高莉沙
真崎隆介
大淵綺奈
有松希恵
桑田陽菜
古郷涼果
立山陽月
松岡香歩
後藤 健
川原悠里
石黒 愛
梅野太陸
辻 光夏
兵頭 茜
高村凜太朗
金崎まどか
青木菜緒
富永海帆
井上優実

- 小5 永吉春香
立山陽菜
水摩 梓
八倉明美
越智未夢
深浦綾乃
栗山稚菜実
久保祐輝
福島もも子
森山美優
福岡瑚都
長松軒三奈
手嶋結香
御手洗彩香
吉田理子
皇甫 萌
福永美菜子
脇山涼輔
豊岡玲那人

- 小6 宮本和花
古橋章子
青木佳穂
江口優花
安西洵香
中尾磨由子
香月奈津子
中野笙資
村中友香
北川 桜
酒井真由
森川 咲
前原汐里
平田理佐子
藤田晃子
池田菜々
近藤果結
松本萌花



郷土地名考 50

安在野

安在野は竹末小学校の付近で、やはり引野の小字である。

『遠賀郡誌』や『八幡市史』では、欽明天皇が筑紫に下られたとき、ここで休息をとられたところであろうとしているが、欽明天皇は筑紫に下られた史実がないので、強いて考えればやはり斉明天皇ということになる。まして、引布の伝承のある同一地域でのことである。

とにかく、天皇が休息をとられたところということから「安在野」、つまり「行在」・「行宮」の意味であろうと思われる。



神社 なぜ 問答

(その50)



出産と育児に関する 神事などについて 教えて下さい。

妊娠や子供の誕生、成長の過程で、子供が無事に生まれ、丈夫に育つことを願うさまざまな産育に関わる神事がおこなわれています。

妊娠五カ月目（地域によって日数に相違）の戌（いぬ）の日には、帯祝いと称して、妊婦の腹に木綿の布で作られた腹帯（岩田帯）を巻きます。これを戌の日におこなうのは、犬は多産ということにあやかるためや、この世と来世を往復する動物と考えられていること、また、よく吠えて家を守るため邪気を祓う意味があ

るといわれています。また、腹帯には胎児を保護する意味があるほか、胎児の靈魂を安定させるなど信仰的な意味もあるといわれています。

皇室においても、一般の帯祝いと同様の「着帯（ちやくたい）の儀」があり、ご懐妊五カ月目の戌の日に、「内着帯（仮着帯）をおこない、九カ月目の戌の日に正式な「着帯の儀」がおこなわれます。この儀式に用いられる帯は、まず、宮中三殿に納められ、その後に着帯がおこなわれます。

妊娠中には日常と比べて多くの禁忌があります。葬式に参列してはならないことや、火事を見てはならないこと、このほか、食べ物については限りがないほどの制約が設けられており、これらの禁忌は妊娠・出産という緊張状態にある妊婦と胎児の体を気遣つてのことであると考えられます。

さて、出産後も新生児に対するさまざまな行事がおこなわれます。生後三日目（地域により相違あり）に産湯を浴びさせますが、この湯に塩や酒を入れると風邪をひかないといわれています。これは子供の身体を清め、発育を願う意味もあるようです。また、七日目のお七夜には、子

供の命名をして、親類や隣近所の方などを招いてお祝いの席が設けられます。この際に名前を書いた紙を神棚や床の間に貼り、家の神様に家族の一員としてお守り戴くようお願いをします。

生後三十日前後に氏神様にお参りすることを初宮参りといい、神様のお力によりこの世に生を享けたことに感謝するとともに、氏子の一員として氏神様に承認戴く行事です。また、百日前後にお食い初めといい、お祝いの食事を食べさせる行事があります。これも一生食物に不自由なく過ごせるようにという願いがこめられたものと考えられています。

編集部より

神道についての素朴な疑問等を募集しております。神社本庁教学研究部の協力でお答えします。

ご質問は紙面の都合上、基礎的な質問に限らせていただきます。質問者の氏名等は掲載いたしません。お名前、ご連絡先は忘れずにお願います。

有川 写真館

八幡西区岡田町1-44-3F TEL 0120-62-2080
本店を黒崎鎮守の森 岡田宮鳥居横 尾畑ビル3階に移転いたしました

周田宮スタジオ(境内)

0120-620-753

神社挙式プラン

¥200,000~

宮参り・七五三・入園・入学など

(お子様の衣装・着付け・ヘアメイク無料)

レンタルお出かけ衣装

1着 ¥5,000~ (お子様に限りです)

撮影料金

四切	1ポーズ	1枚	……	¥10,500
四切	2ポーズ	2枚	……	¥21,000
四切	3ポーズ	3枚	……	¥27,000

年末年始の行事案内

● 大祓 おおはらへ
 十二月三十一日
 大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となって各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

● どんど焼祭
 一月十六日(日)
 古くなったメ縄、門松等を焼納する神事。
 地元の有志による餅つき、餅まき、黒崎祇園太鼓、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。

● 歳日(祭) さいたんさい
 一月一日
 新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願いする神事。
 午前〇時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

● 特別祈願祭
 一月一日〜七日
 新しい年を迎え、家内安全、商売繁昌、厄除開運等の特別祈願を受け付けております。皆様おそろいでお参り下さい。

● 開運福引き
 一月一日〜三日
 一枚五百円でハズレなし。
 一等は羽根ぶとんなどが当ります。新年の運だめしにどうぞ。

● 成人奉告祭
 一月十日
 新成人のお祓いをします。

● 人形供養祭
 日頃かわいがっていた人形・ぬいぐるみ等、お祓いして供養します。
 初穂料・ミカン箱一箱 五千円

巫女奉仕者募集

大神様のお側近くで巫女として仕え、結婚式やお神礼やお守りをお授けする女性奉仕者を募集しています。神様に仕える重要なお務めであり、貴重な体験になるかと思えます。

ご希望の方は神社社務所
 電話 (621) 一八九八
 までお問い合わせ下さい。

奉仕資格 高校生以上
 未婚の方
 ※書類審査・面接が有ります。



できれば髪の長い方希望
 茶髪不可
 (程度によります)

平成二十三年の厄年

(年齢は数え年)

厄年(男)
 二十四才 前厄 昭和六十三年生
 二十五才 大厄 六十二年生
 二十六才 後厄 六十一年生
 四十一才 前厄 四十六年生
 四十二才 大厄 四十五年生
 四十三才 後厄 四十四年生
 六十才 前厄 二十七年生
 六十一才 大厄 二十六年生
 六十二才 後厄 二十五年生

厄年(女)
 十八才 前厄 平成六年生
 十九才 大厄 五年生
 二十才 後厄 四年生
 三十二才 前厄 昭和五十五年生
 三十三才 大厄 五十四年生
 三十四才 後厄 五十三年生
 三十六才 前厄 五十一年生
 三十七才 大厄 五十年生
 三十八才 後厄 四十九年生

◆ 厄年大祭 二月節分日